

第3号様式（第15条、第17条、第18条関係）

事業者排出量削減計画書

		<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 変更				
（宛先） 京都府知事		平成29年 9月29日				
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）		氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）				
東京都港区虎ノ門二丁目2番1号		日本たばこ産業株式会社 代表取締役社長 小泉 光臣 電話 03-3582-3111				
主たる業種	たばこ製造業（葉たばこ処理業を除く）					
事業者の区分	京都府地球温暖化対策条例施行規則	細分類番号	1 0 5 1			
事業者の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 第12条第1項第1号 <input type="checkbox"/> 第12条第1項第2号又は第3号 <input type="checkbox"/> 第12条第1項第4号					
計画期間	平成29年4月から平成32年3月まで					
基本方針	たばこ製品工場における百万本あたり排出量を2012年度に1995年度比で12%削減、2020年度に1995年度比で15%削減を目指す。					
計画を推進するための体制	CSR担当副社長が環境管理統括者として環境マネジメントを統括し、各部門長が環境管理責任者として所管部門における環境マネジメントを推進することで、グループ全体が一丸となって取組む体制を構築している。					
温室効果ガスの排出の実績及び削減の目標	温室効果ガスの排出の量	基準年度 (26~28)年度	第1年度 (29)年度	第2年度 (30)年度	第3年度 (31)年度	増減率
	事業活動に伴う排出の量	30,206.0 トン	26,934.1 トン	25,093.4 トン	22,950.3 トン	-17.3 パーセント
	評価の対象となる排出の量	29,670.2 トン	26,934.1 トン	25,093.4 トン	22,950.3 トン	-15.8 パーセント
	目標の根拠	工場の生産数量の大幅な減少に伴う変動分の減少の他、老朽化している吸収式冷凍機、ボイラー等の設備更新を行い、また、冷凍機の稼働適正化で空調設備の稼働を低減していく。				
原単位当たりの温室効果ガス排出量等	事業の用に供する建築物の用途	基準年度 (28)年度	第1年度 (29)年度	第2年度 (30)年度	第3年度 (31)年度	増減率
	工場	7.36	7.97	8.43	10.04	19.75 パーセント
	事業活動に伴う排出の量 (生産数量：千万本)					パーセント
	原単位の指標及び目標の根拠	温室効果ガス排出量の9%を関西工場が占めるため、工場の生産数量を原単位の指標としているが、生産数量の減少が多く、固定分について、変動分に見合った削減まで至らないため、毎年度、増加することになった。				
重点的に実施する取組の実施計画		基準年度 (28)年度	第1年度 (29)年度	第2年度 (30)年度	第3年度 (31)年度	備考
		100.0 パーセント	100.0 パーセント	100.0 パーセント	100.0 パーセント	
具体的な取組及び措置の内容	(29)年度	冷凍機稼働適正化により空調設備稼働の減少を図る。				
	(30)年度	吸収式冷凍機1台をターボ冷凍機に更新する。				
	(31)年度	井水系ボイラーを高効率ボイラーへ更新する。				
通勤における自己の自動車等を使用することを控えさせるために実施しようとする措置	措置の内容	特段の措置はなし				
	上記の措置を採用する理由	工場は交替制勤務のため、通勤に公共交通機関が使用できない。通勤距離2km未満については交通費の支給はせず、自転車・徒歩通勤を推進している。				
森林の保全及び整備、再生可能エネルギーの利用その他の地球温暖化対策により削減する量	区分	第1年度 (29)年度	第2年度 (30)年度	第3年度 (31)年度	備考	
	森林の保全及び整備によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン		
	府内産の木材の利用によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン		
	再生可能エネルギーを利用した電力又は熱の供給によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン		
	グリーン電力証書等の購入によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン		
	温室効果ガス排出量の削減効果分又は温室効果ガスの吸収効果分の購入によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン		
合計	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
地球温暖化対策に資する社会貢献活動	<ul style="list-style-type: none"> 国内外で植林/森林保全活動を実施し、国内では現在9か所の「JTの森」を展開し、森を育て守っていく活動を継続している。 市民参加型の清掃活動「ひろえば街が好きになる運動」を展開している。 					
特記事項						

注1 該当する□には、レ印を記入してください。特定事業者以外で自主参加される事業者の方は、レ印の記入は不要です。

注2 「細分類番号」とは、統計法（平成19年法律第53号）第2条第9項に規定する統計基準である日本標準産業分類の細分類番号をいいます。

注3 「基準年度」とは、計画期間の前年度又は計画期間の前の3年度の事業活動に伴う排出の量又は原単位の数値の平均をいいます。

注4 「増減率」とは、基準年度と比較した計画期間の平均の増加又は減少の割合をいいます。

注5 「重点的に実施する取組の実施計画」には、温室効果ガスの排出の量を削減するために重点的に実施する取組の実施率を地球温暖化対策指針で定める方法により算出して記入し、その算出の根拠となる資料を添付してください。